

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2011年6月調査）

2011年7月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2011年4～6月の実績と2011年7～9月の見通しを6月初旬時点で行ったものであり、1,044社からご協力をいただき、回答率は41.8%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

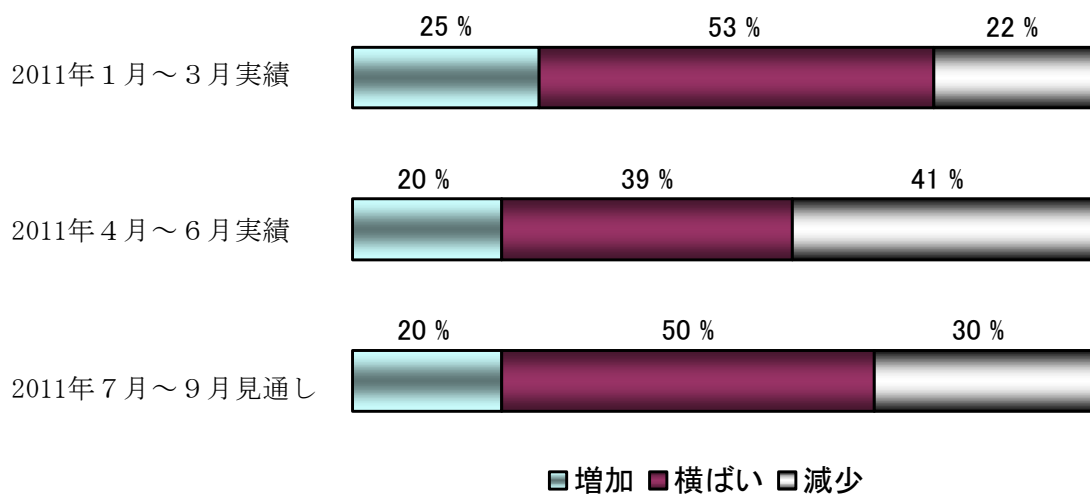
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	94	40.5
	織 維 ・ 衣 服	111	52	46.8
	木 材 ・ 家 具	96	36	37.5
	パ ル プ ・ 紙	107	45	42.1
	化学・プラスチック	238	116	48.7
	窯 業 ・ 土 石	102	44	43.1
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	196	105	53.6
	金 属 製 品	128	53	41.4
	一 般 機 械	222	91	41.0
	電 気 機 械	333	135	40.5
	輸 送 用 機 械	250	89	35.6
	精 密 機 械	67	27	40.3
	そ の 他	167	57	34.1
計		2,249	944	42.0
卸 売 業	生 産 財	124	56	45.2
	消 費 財	127	44	34.6
	計	251	100	39.8
合 計		2,500	1,044	41.8

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

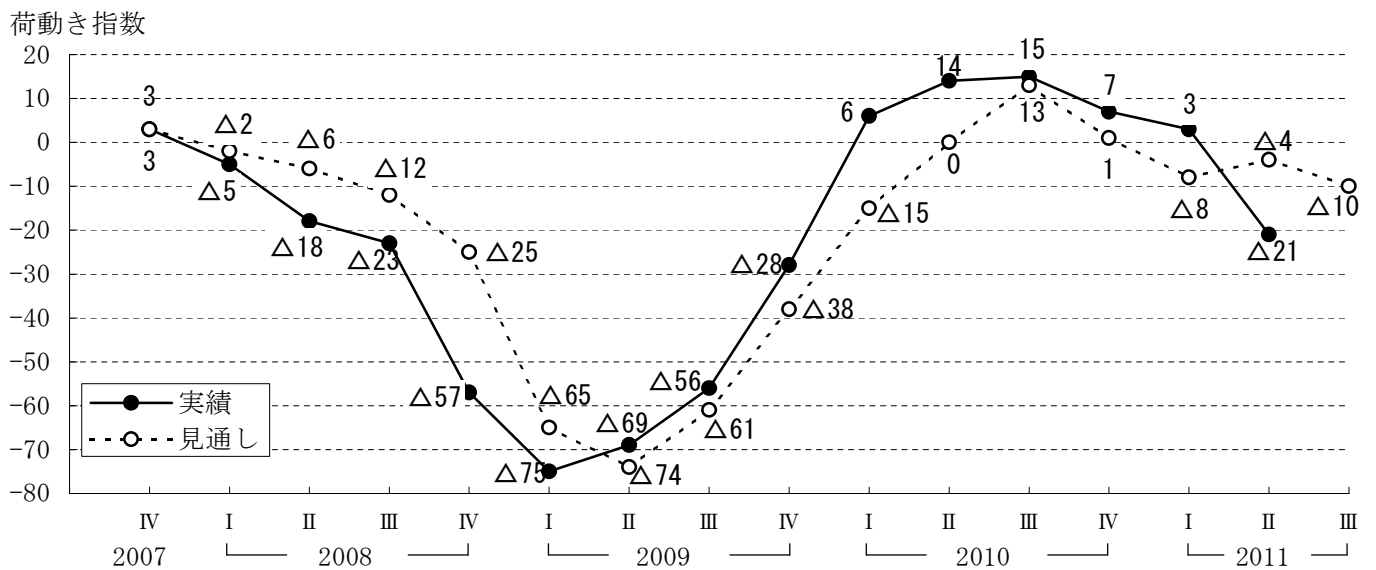
- 4～6月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（1～3月）実績より5ポイント低下し20%となった。また、「減少」との回答は前期より19ポイント上昇し41%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は24ポイント低下して△21となった。
- 7～9月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（4～6月）実績（見込み）と変わらず20%で、「減少」との回答は11ポイント低下して30%になる。この結果『荷動き指数』は11ポイント上昇して△10と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2009年1～3月を底に、2010年7～9月まで荷動きの回復・拡大基調が続いた。しかし、2010年10～12月実績で増勢にブレーキがかかり、2011年4～6月実績（見込み）では、東日本大震災の影響を受けて、『荷動き指数』が△21と6期ぶりにマイナスに転じた。2011年7～9月見通しでは、引き続き水面下の推移が予想されるものの、改善に向けた動きがみられる。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2011年Ⅲ期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2011年Ⅱ期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

■ 4～6月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、すべての業種がマイナスを示し、食料品・飲料、木材・家具、パルプ・紙の3業種を除いて2ケタのマイナスとなった。なかでも、輸送用機械や精密機械など機械関連の業種におけるマイナス幅が大きい。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、マイナスの業種が全15業種中11業種と多数を占めるものの、過半数の業種において改善の動きがみられ、なかでも精密機械および輸送用機械は50ポイント前後の大幅な上昇となった。この結果、精密機械がプラスに反転するほか、木材・家具、化学・プラスチック、一般機械の3業種もゼロ水準まで戻す見通しである。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	91	25	45	30	△ 5	91	18	55	27	△ 9
繊維・衣服	50	12	46	42	△ 30	51	10	59	31	△ 21
木材・家具	35	31	29	40	△ 9	35	29	42	29	0
パルプ・紙	45	27	44	29	△ 2	45	22	47	31	△ 9
化学・プラスチック	114	18	50	32	△ 14	114	18	64	18	0
窯業・土石	44	25	30	45	△ 20	44	16	59	25	△ 9
鉄鋼・非鉄	103	24	37	39	△ 15	103	22	46	32	△ 10
金属製品	50	26	28	46	△ 20	50	18	44	38	△ 20
一般機械	90	22	40	38	△ 16	90	29	42	29	0
電気機械	135	19	33	48	△ 29	135	26	35	39	△ 13
輸送用機械	86	9	35	56	△ 47	86	24	50	26	△ 2
精密機械	27	14	30	56	△ 42	27	40	30	30	10
その他	55	20	31	49	△ 29	55	13	45	42	△ 29
計	925	21	38	41	△ 20	926	22	48	30	△ 8
卸売業										
生産財	55	20	44	36	△ 16	54	7	65	28	△ 21
消費財	43	9	56	35	△ 26	42	10	64	26	△ 16
計	98	15	49	36	△ 21	96	8	65	27	△ 19
合計	1,023	20	39	41	△ 21	1,022	20	50	30	△ 10

■ 4～6月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、全地域でマイナスを示した。とくに東日本大震災の被災地である東北および関東、サプライチェーン寸断の影響を大きく受けた東海では、マイナス幅が大きくなっている。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、北海道および九州・沖縄の2地域を除いて改善の動きがみられる。北陸・信越ではプラスに戻すほか、近畿、中国、四国の3地域でも1ケタ台のマイナスにとどまる。また、東北、関東、東海ではマイナス幅の縮小が見込まれるものの、依然として2ケタのマイナスが続き、回復の足取りはやや重い。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

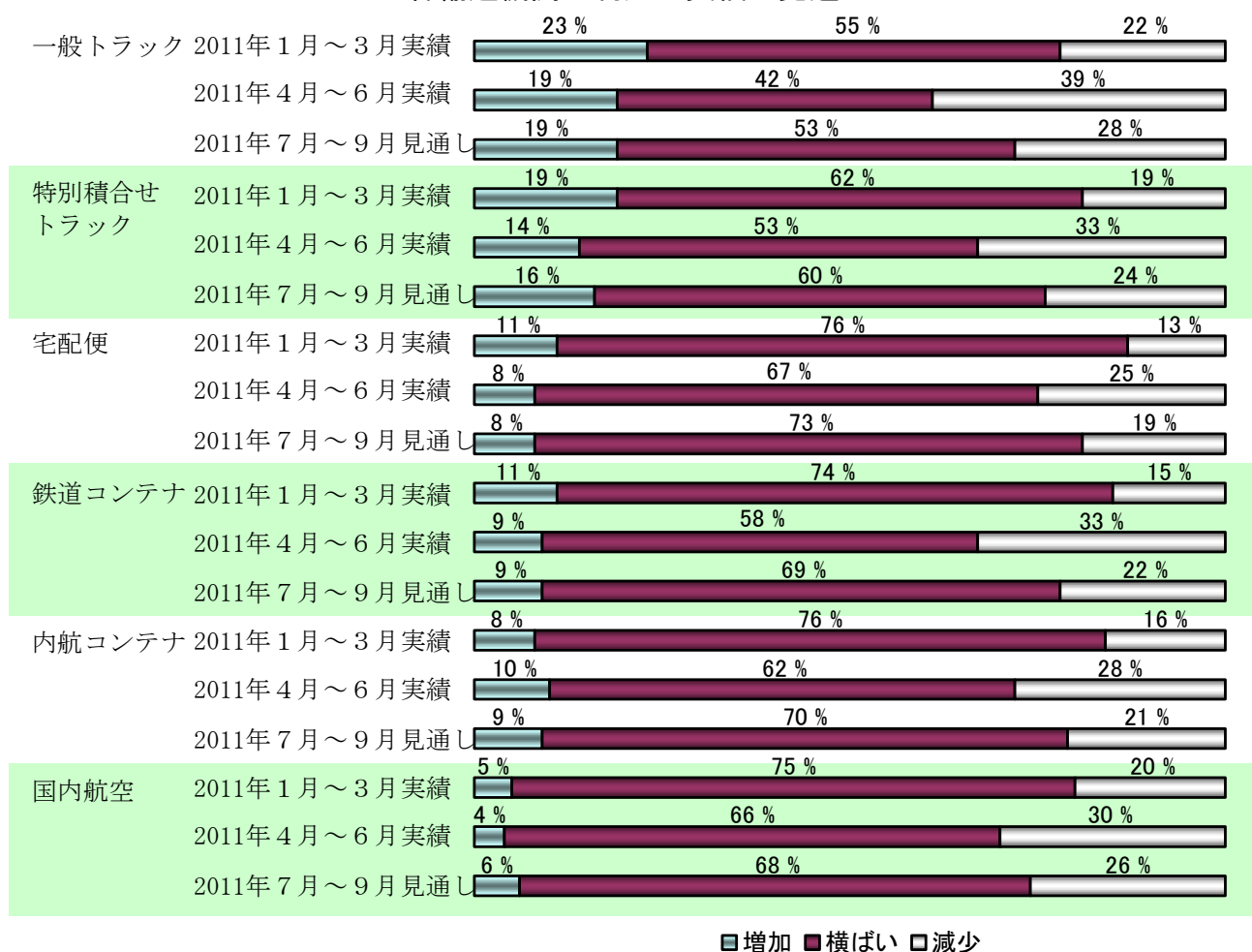
地 域	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	48	25	44	31	△ 6	47	19	47	34	△ 15
東 北	89	18	33	49	△ 31	90	23	43	34	△ 11
関 東	239	22	30	48	△ 26	239	22	42	36	△ 14
北 陸 ・ 信 越	111	24	44	32	△ 8	111	31	47	22	9
東 海	145	17	23	60	△ 43	145	17	49	34	△ 17
近 畿	156	22	45	33	△ 11	156	19	59	22	△ 3
中 国	100	20	54	26	△ 6	99	20	59	21	△ 1
四 国	61	16	53	31	△ 15	61	16	59	25	△ 9
九 州 ・ 沖 縄	74	13	53	34	△ 21	74	12	52	36	△ 24
合 計	1,023	20	39	41	△ 21	1,022	20	50	30	△ 10

－ 2. 輸送機関利用の動向－

■ 4～6月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』をみると、すべての輸送機関において、前期（1～3月）実績よりも10ポイント以上の大幅な悪化を示し、かつ全輸送機関で2ケタのマイナスとなった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しについては、すべての輸送機関において引き続きマイナスを示すものの、改善の動きがみられる。ただし、各輸送機関とも、「増加」との回答割合が前期（4～6月）実績との比較でほとんど増加していないことを勘案すると、荷動きの下げ止まりは期待できるが、まだ力強い回復には至っていない。

各輸送機関の利用の実績と見通し



(1) 一般トラック

■ 4～6月実績(見込み)の『利用動向指数』は、パルプ・紙が唯一プラスを示し、残り14業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△20で、前期(1～3月)実績との比較では21ポイントの低下がみられた。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、パルプ・紙がマイナスに落ち込む一方、大半の業種で『利用動向指数』が上昇し、木材・家具がプラスに反転するほか、化学・プラスチック、輸送用機械、精密機械の3業種もゼロ水準まで浮上する。業種全体の『利用動向指数』は△9と11ポイント上昇する見込みで、利用の減退圧力は若干弱まる見通しである。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	92	26	44	30	△4	90	20	53	27	△7	
繊維・衣服	43	14	49	37	△23	41	12	61	27	△15	
木材・家具	36	25	39	36	△11	36	28	47	25	3	
パルプ・紙	45	29	44	27	2	45	20	51	29	△9	
化学・プラスチック	114	20	49	31	△11	113	18	64	18	0	
窯業・土石	43	26	30	44	△18	42	16	60	24	△8	
鉄鋼・非鉄	100	24	40	36	△12	99	20	52	28	△8	
金属製品	51	20	35	45	△25	50	14	56	30	△16	
一般機械	88	18	42	40	△22	87	28	41	31	△3	
電気機械	120	14	38	48	△34	119	19	43	38	△19	
輸送用機械	85	10	38	52	△42	85	27	46	27	0	
精密機械	24	12	46	42	△30	24	25	50	25	0	
その他	55	21	35	44	△23	54	13	54	33	△20	
計	896	20	41	39	△19	885	20	52	28	△8	
卸売業	生産財	51	14	49	37	△23	51	6	63	31	△25
	消費財	40	9	53	38	△29	37	8	60	32	△24
	計	91	12	51	37	△25	88	7	61	32	△25
合計	987	19	42	39	△20	973	19	53	28	△9	

(2) 特別積合せトラック

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、全業種がマイナスで、食料品・飲料以外は2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△19で、前期（1～3月）実績からは19ポイントの低下となった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、大半の業種で『利用動向指数』が上昇し、窯業・土石および輸送用機械の2業種がプラスに反転するほか、木材・家具および精密機械の2業種もゼロ水準まで戻す。業種全体の『利用動向指数』は△8と11ポイント上昇する見込みで、利用の減退圧力は若干弱まるものとみられる。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	54	15	61	24	△ 9	54	13	63	24	△ 11
	繊維・衣服	37	16	46	38	△ 22	34	15	59	26	△ 11
	木材・家具	27	11	56	33	△ 22	27	15	70	15	0
	パルプ・紙	26	15	50	35	△ 20	26	15	50	35	△ 20
	化学・プラスチック	99	13	64	23	△ 10	99	13	73	14	△ 1
	窯業・土石	29	21	48	31	△ 10	29	14	76	10	4
	鉄鋼・非鉄	64	20	46	34	△ 14	64	20	57	23	△ 3
	金属製品	38	16	47	37	△ 21	37	16	54	30	△ 14
	一般機械	68	15	53	32	△ 17	68	22	50	28	△ 6
	電気機械	103	12	46	42	△ 30	101	17	48	35	△ 18
	輸送用機械	61	3	54	43	△ 40	61	21	61	18	3
	精密機械	13	15	38	47	△ 32	13	23	54	23	0
	その他	43	18	42	40	△ 22	42	9	62	29	△ 20
計	662	14	52	34	△ 20	655	17	59	24	△ 7	
卸売業	生産財	41	10	66	24	△ 14	41	2	71	27	△ 25
	消費財	28	7	68	25	△ 18	27	11	67	22	△ 11
	計	69	8	67	25	△ 17	68	6	69	25	△ 19
合計	731	14	53	33	△ 19	723	16	60	24	△ 8	

(3) 宅配便

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、全業種がマイナスで、食料品・飲料、パルプ・紙、生産財卸の3業種以外は2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△17で、前期（1～3月）実績からは15ポイントの低下となった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、大半の業種で『利用動向指数』が上昇し、窯業・土石および輸送用機械の2業種がゼロ水準まで戻す。業種全体の『利用動向指数』は6ポイント上昇して△11と見込まれ、利用の減退圧力は若干弱まる見通しである。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	64	7	77	16	△9	63	6	80	14	△8
	繊維・衣服	44	7	61	32	△25	43	7	70	23	△16
	木材・家具	28	11	68	21	△10	28	11	75	14	△3
	パルプ・紙	21	10	71	19	△9	21	5	71	24	△19
	化学・プラスチック	89	4	79	17	△13	89	6	84	10	△4
	窯業・土石	28	7	72	21	△14	28	7	86	7	0
	鉄鋼・非鉄	66	7	76	17	△10	65	3	86	11	△8
	金属製品	46	6	57	37	△31	45	7	62	31	△24
	一般機械	84	11	65	24	△13	84	15	66	19	△4
	電気機械	114	10	53	37	△27	114	13	62	25	△12
	輸送用機械	68	6	72	22	△16	67	15	70	15	0
	精密機械	26	0	54	46	△46	26	19	46	35	△16
	その他	45	7	62	31	△24	45	4	69	27	△23
計	723	7	67	26	△19	718	9	72	19	△10	
卸売業	生産財	43	7	77	16	△9	43	2	82	16	△14
	消費財	33	6	70	24	△18	32	3	81	16	△13
	計	76	6	74	20	△14	75	3	81	16	△13
合計	799	8	67	25	△17	793	8	73	19	△11	

(4) 鉄道コンテナ

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、全業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△24で、前期（1～3月）実績からは20ポイントの大幅な低下となった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、大半の業種で『利用動向指数』が上昇し、金属製品がプラスに反転するほか、鉄鋼・非鉄もゼロ水準まで戻す。業種全体の『利用動向指数』は11ポイント上昇して△13と見込まれ、利用の減退圧力は若干弱まる見通しである。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	42	17	52	31	△14	41	12	66	22	△10
	繊維・衣服	16	0	56	44	△44	16	6	69	25	△19
	木材・家具	16	12	50	38	△26	16	0	88	12	△12
	パルプ・紙	32	22	44	34	△12	32	13	56	31	△18
	化学・プラスチック	80	8	71	21	△13	80	10	74	16	△6
	窯業・土石	14	0	71	29	△29	13	0	85	15	△15
	鉄鋼・非鉄	41	17	56	27	△10	41	15	70	15	0
	金属製品	19	10	58	32	△22	19	21	68	11	10
	一般機械	33	3	64	33	△30	33	6	67	27	△21
	電気機械	43	5	53	42	△37	42	7	62	31	△24
	輸送用機械	27	0	41	59	△59	27	15	63	22	△7
	精密機械	9	11	56	33	△22	9	11	56	33	△22
	その他	26	4	69	27	△23	25	0	72	28	△28
計	398	9	58	33	△24	394	9	69	22	△13	
卸売業	生産財	7	0	57	43	△43	7	0	71	29	△29
	消費財	13	7	62	31	△24	12	8	67	25	△17
	計	20	5	60	35	△30	19	5	69	26	△21
合計	418	9	58	33	△24	413	9	69	22	△13	

(5) 内航コンテナ

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、窯業・土石が唯一プラスを示し、パルプ・紙がゼロ水準にとどまる以外は、残り13業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△18で、前期（1～3月）実績からは10ポイントの低下となった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、パルプ・紙がゼロ水準に落ち込む一方、約半数の業種で『利用動向指数』が上昇し、繊維・衣服および輸送用機械の2業種がプラスに反転するほか、金属製品がゼロ水準まで戻す。業種全体の『利用動向指数』は6ポイント上昇して△12と見込まれ、利用の減退圧力は若干弱まるものとみられる。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	23	17	48	35	△18	22	9	64	27	△18
	繊維・衣服	8	0	50	50	△50	8	25	63	12	13
	木材・家具	11	9	55	36	△27	11	0	73	27	△27
	パルプ・紙	15	27	46	27	0	15	13	60	27	△14
	化学・プラスチック	48	4	71	25	△21	48	2	83	15	△13
	窯業・土石	13	15	77	8	7	13	15	85	0	15
	鉄鋼・非鉄	23	4	74	22	△18	23	4	66	30	△26
	金属製品	17	11	71	18	△7	16	6	88	6	0
	一般機械	31	16	65	19	△3	31	19	58	23	△4
	電気機械	32	6	69	25	△19	32	9	66	25	△16
	輸送用機械	24	8	46	46	△38	24	17	75	8	9
	精密機械	6	0	67	33	△33	6	0	67	33	△33
	その他	21	10	57	33	△23	21	5	71	24	△19
計	272	9	63	28	△19	270	9	71	20	△11	
卸売業	生産財	7	14	43	43	△29	7	14	43	43	△29
	消費財	7	0	71	29	△29	7	0	57	43	△43
	計	14	7	57	36	△29	14	7	50	43	△36
合計	286	10	62	28	△18	284	9	70	21	△12	

(6) 国内航空

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、パルプ・紙が唯一プラスを示し、残り14業種が2ケタのマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△26で、前期（1～3月）実績との比較では11ポイントの低下がみられた。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、パルプ・紙がゼロ水準に落ち込む一方、多くの業種で『利用動向指数』が上昇し、輸送用機械がプラスに反転するほか、木材・家具もゼロ水準まで浮上する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は6ポイント上昇して△20と見込まれる。ただし、国内航空は全輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも低く、利用の減退が続く見通しである。

国内航空利用の実績と見通し

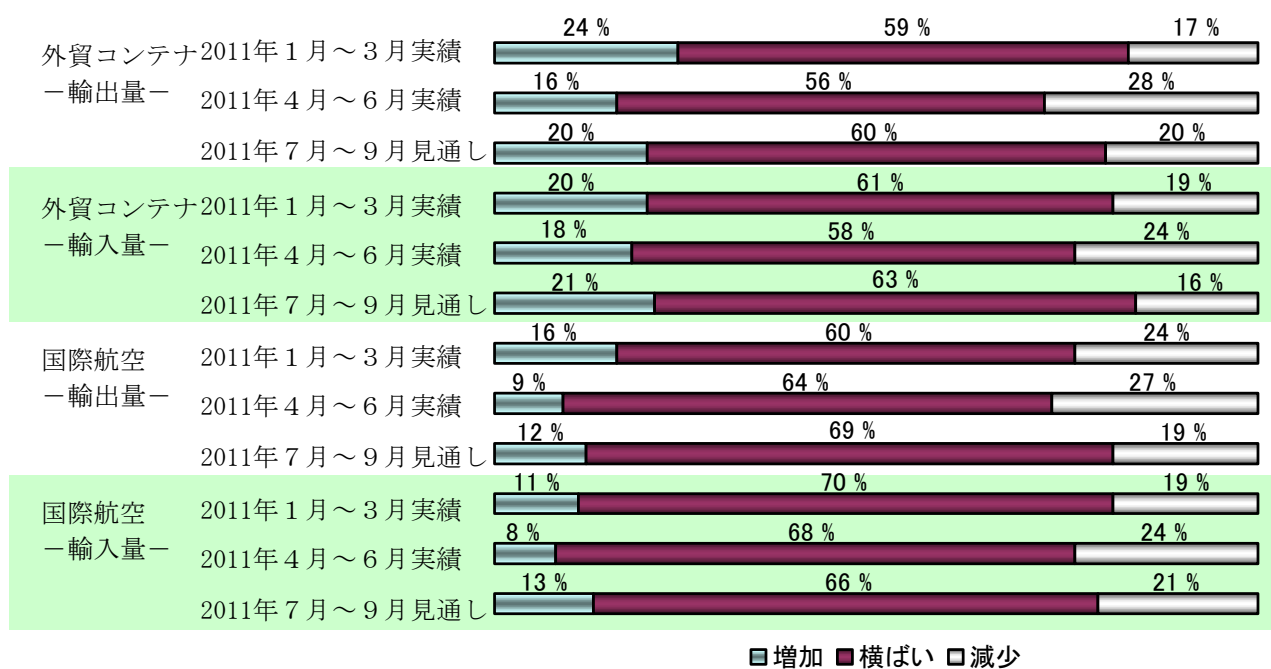
業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	22	9	59	32	△23	22	4	64	32	△28
繊維・衣服	12	8	59	33	△25	12	8	67	25	△17
木材・家具	11	0	82	18	△18	11	0	100	0	0
パルプ・紙	3	33	67	0	33	3	0	100	0	0
化学・プラスチック	37	0	81	19	△19	37	0	86	14	△14
窯業・土石	13	15	47	38	△23	13	8	69	23	△15
鉄鋼・非鉄	24	8	67	25	△17	24	8	67	25	△17
金属製品	16	0	69	31	△31	16	0	69	31	△31
一般機械	45	4	72	24	△20	45	9	64	27	△18
電気機械	60	5	58	37	△32	59	8	56	36	△28
輸送用機械	24	0	79	21	△21	24	13	83	4	9
精密機械	12	0	50	50	△50	12	0	67	33	△33
その他	21	0	52	48	△48	21	5	57	38	△33
計	300	4	66	30	△26	299	6	69	25	△19
卸売業										
生産財	8	0	63	37	△37	8	0	50	50	△50
消費財	8	12	50	38	△26	8	24	38	38	△14
計	16	6	56	38	△32	16	12	44	44	△32
合計	316	4	66	30	△26	315	6	68	26	△20

－ 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、外貨コンテナの輸出・輸入、国際航空の輸出・輸入とも前期（1～3月）実績から低下し、すべての輸送機関でマイナスとなった。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しについては、外貨コンテナの輸入ではプラスに反転し、輸出でもゼロ水準まで戻す。一方、国際航空については、輸出・輸入とも改善の動きがみられるものの、引き続きマイナスが見込まれる。この結果、外貨コンテナでは荷動きが回復に向かう一方、国際航空では荷動きの減退が続くものとみられる。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、窯業・土石および一般機械の2業種がプラス、木材・家具がゼロ水準で、残り12業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△12で、前期（1～3月）実績との比較では19ポイントの大幅な低下となった。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、多くの業種で『荷動き指数』が上昇し、金属製品など4業種がプラスに反転するほか、精密機械およびその他の製造業の2業種もゼロ水準まで浮上する。業種全体の『利用動向指数』は12ポイント上昇してゼロ水準と見込まれ、荷動きには回復の兆しが窺える。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	10	10	50	40	△30	10	10	60	30	△20
繊維・衣服	15	6	67	27	△21	15	13	80	7	6
木材・家具	7	14	72	14	0	7	14	72	14	0
パルプ・紙	15	20	47	33	△13	14	7	50	43	△36
化学・プラスチック	63	16	54	30	△14	62	23	56	21	2
窯業・土石	20	40	50	10	30	20	40	55	5	35
鉄鋼・非鉄	41	5	68	27	△22	41	5	68	27	△22
金属製品	18	6	83	11	△5	18	17	78	5	12
一般機械	57	26	56	18	8	57	33	51	16	17
電気機械	58	15	47	38	△23	58	22	50	28	△6
輸送用機械	46	17	48	35	△18	46	22	65	13	9
精密機械	17	0	71	29	△29	17	18	64	18	0
その他	27	15	59	26	△11	27	19	62	19	0
計	394	16	57	27	△11	392	21	60	19	2
卸売業										
生産財	7	14	43	43	△29	7	14	43	43	△29
消費財	8	12	63	25	△13	8	0	75	25	△25
計	15	13	54	33	△20	15	7	60	33	△26
合計	409	16	56	28	△12	407	20	60	20	0

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、生産財卸など5業種がプラスで、残り10業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△6で、前期（1～3月）実績からは7ポイント低下した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、生産財卸がマイナスに落ち込む一方、大半の業種で『荷動き指数』が上昇し、輸送用機械など6業種がプラスに反転する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は11ポイント上昇してプラス5と見込まれ、荷動きは回復に転じる見込みである。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	19	11	47	42	△ 31	19	15	53	32	△ 17
	繊維・衣服	19	21	74	5	16	19	26	69	5	21
	木材・家具	12	16	42	42	△ 26	12	17	58	25	△ 8
	パルプ・紙	12	25	42	33	△ 8	12	25	58	17	8
	化学・プラスチック	56	20	66	14	6	56	18	73	9	9
	窯業・土石	19	32	53	15	17	19	21	74	5	16
	鉄鋼・非鉄	33	12	70	18	△ 6	33	12	79	9	3
	金属製品	16	12	69	19	△ 7	16	31	56	13	18
	一般機械	51	22	59	19	3	51	24	57	19	5
	電気機械	58	15	59	26	△ 11	58	22	57	21	1
	輸送用機械	49	12	57	31	△ 19	49	24	70	6	18
	精密機械	16	13	56	31	△ 18	16	25	63	12	13
	その他	25	24	36	40	△ 16	25	24	48	28	△ 4
計	385	18	58	24	△ 6	385	22	64	14	8	
卸売業	生産財	9	44	44	12	32	9	22	45	33	△ 11
	消費財	14	7	57	36	△ 29	14	7	57	36	△ 29
	計	23	22	52	26	△ 4	23	13	52	35	△ 22
合計	408	18	58	24	△ 6	408	21	63	16	5	

(3) 国際航空 —輸出—

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、窯業・土石が唯一プラスを示し、木材・家具がゼロ水準で、残り13業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△18で、前期（1～3月）実績からは10ポイント低下した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、過半数の業種で『荷動き指数』が上昇し、輸送用機械および精密機械の2業種がプラスに反転する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は11ポイント上昇してマイナス7と見込まれ、荷動きの減退圧力は若干弱まる見込みである。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	8	0	63	37	△ 37	8	0	75	25	△ 25
	繊維・衣服	10	0	60	40	△ 40	10	0	80	20	△ 20
	木材・家具	3	0	100	0	0	3	0	100	0	0
	パルプ・紙	2	0	50	50	△ 50	2	0	50	50	△ 50
	化学・プラスチック	35	5	69	26	△ 21	35	6	83	11	△ 5
	窯業・土石	9	45	33	22	23	9	33	45	22	11
	鉄鋼・非鉄	26	8	69	23	△ 15	26	4	77	19	△ 15
	金属製品	16	6	75	19	△ 13	16	6	81	13	△ 7
	一般機械	57	7	79	14	△ 7	57	12	69	19	△ 7
	電気機械	76	13	58	29	△ 16	76	20	58	22	△ 2
	輸送用機械	29	17	59	24	△ 7	29	21	72	7	14
	精密機械	17	6	59	35	△ 29	17	12	82	6	6
	その他	19	0	47	53	△ 53	19	5	53	42	△ 37
計	307	9	65	26	△ 17	307	12	69	19	△ 7	
卸売業	生産財	8	12	50	38	△ 26	8	0	63	37	△ 37
	消費財	6	0	67	33	△ 33	6	0	67	33	△ 33
	計	14	7	57	36	△ 29	14	0	64	36	△ 36
合計	321	9	64	27	△ 18	321	12	69	19	△ 7	

(4) 国際航空 — 輸入 —

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、プラスの業種は皆無で、鉄鋼・非鉄など4業種がゼロ水準、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△16で、前期（1～3月）実績からは8ポイント低下した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、約半数の業種で『荷動き指数』が上昇し、電気機械および輸送用機械がプラスに反転する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は8ポイント上昇してマイナス8と見込まれ、荷動きの減退圧力は若干弱まるものとみられる。

国際航空による輸入量の実績と見通し

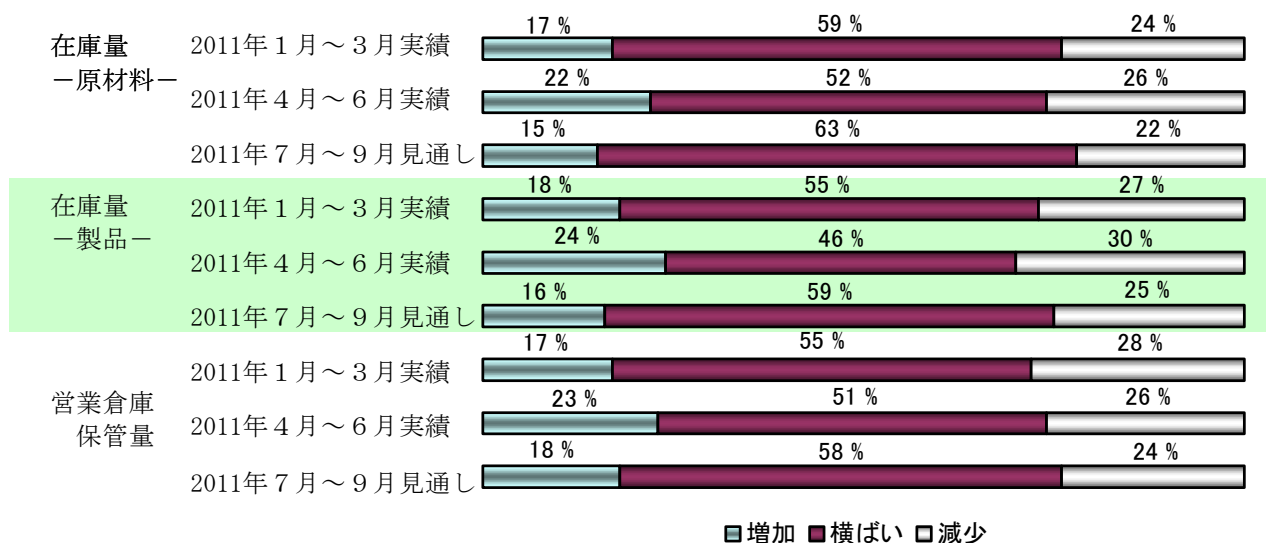
業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	8	0	50	50	△ 50	8	0	63	37	△ 37
繊維・衣服	7	0	86	14	△ 14	7	0	86	14	△ 14
木材・家具	3	0	100	0	0	3	0	100	0	0
パルプ・紙	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0
化学・プラスチック	33	6	76	18	△ 12	33	6	82	12	△ 6
窯業・土石	8	13	74	13	0	8	13	74	13	0
鉄鋼・非鉄	20	10	80	10	0	20	5	85	10	△ 5
金属製品	11	0	82	18	△ 18	11	9	82	9	0
一般機械	48	6	71	23	△ 17	48	15	58	27	△ 12
電気機械	67	12	60	28	△ 16	67	25	53	22	3
輸送用機械	27	11	67	22	△ 11	27	19	74	7	12
精密機械	16	12	69	19	△ 7	16	12	69	19	△ 7
その他	17	6	59	35	△ 29	17	6	65	29	△ 23
計	266	8	69	23	△ 15	266	14	67	19	△ 5
卸売業										
生産財	7	14	29	57	△ 43	7	14	29	57	△ 43
消費財	7	0	57	43	△ 43	7	0	43	57	△ 57
計	14	7	43	50	△ 43	14	7	36	57	△ 50
合計	280	8	68	24	△ 16	280	13	66	21	△ 8

－ 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 4～6月実績(見込み)の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも『動向指数』はマイナスとなった。前期(1～3月)実績との比較では、すべての『動向指数』で改善がみられた。

■ 7～9月の見通しについては、いずれの『動向指数』も僅かながら低下が見込まれる。一部業種においては、東日本大震災からの復旧・復興需要の発生を期待し、在庫を積み増したものの、その発生の遅れを受けて生産調整が行われている。こうした背景などもあって、再び在庫圧縮および営業倉庫保管量の削減の方向に向かうものとみられる。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 4～6月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、木材・家具、パルプ・紙、鉄鋼・非鉄の3業種がプラス、窯業・土石がゼロ水準のほかは、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『在庫動向指数』は△4で、前期（1～3月）実績との比較では3ポイントの改善がみられた。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、窯業・土石がプラスに上昇する一方、パルプ・紙がマイナスに反転し、木材・家具もゼロ水準まで下降しよう。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△7と小幅の低下が見込まれ、原材料在庫は圧縮の方向に向かう見通しである。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	82	12	61	27	△15	82	9	65	26	△17
	繊維・衣服	46	24	43	33	△9	47	10	64	26	△16
	木材・家具	34	32	42	26	6	34	21	58	21	0
	パルプ・紙	40	18	70	12	6	40	7	80	13	△6
	化学・プラスチック	106	15	60	25	△10	106	16	67	17	△1
	窯業・土石	35	20	60	20	0	35	11	80	9	2
	鉄鋼・非鉄	96	33	52	15	18	96	17	71	12	5
	金属製品	50	32	32	36	△4	50	22	50	28	△6
	一般機械	77	22	53	25	△3	77	14	59	27	△13
	電気機械	119	21	52	27	△6	119	16	59	25	△9
	輸送用機械	80	22	44	34	△12	80	16	60	24	△8
	精密機械	21	19	52	29	△10	21	19	57	24	△5
	その他	51	25	40	35	△10	51	14	53	33	△19
計	837	22	52	26	△4	838	15	63	22	△7	
卸売業	生産財	25	12	52	36	△24	25	8	68	24	△16
	消費財	23	22	48	30	△8	23	17	61	22	△5
	計	48	17	50	33	△16	48	12	65	23	△11
合計	885	22	52	26	△4	886	15	63	22	△7	

(2) 在庫量 —製品—

■ 4～6月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、鉄鋼・非鉄など5業種がプラス、精密機械がゼロ水準のほかは、残り9業種がマイナスを示した。業種全体の『在庫動向指数』は△6で、前期（1～3月）実績との比較では3ポイントの改善がみられた。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがゼロ水準まで上昇する一方、木材・家具および精密機械の2業種がマイナスに下降しよう。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△9と小幅の低下が見込まれ、製品在庫は圧縮の方向に向かうものとみられる。

在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	82	12	50	38	△ 26	82	10	60	30	△ 20
	繊維・衣服	48	21	35	44	△ 23	49	16	47	37	△ 21
	木材・家具	32	28	47	25	3	32	16	59	25	△ 9
	パルプ・紙	43	26	53	21	5	43	19	62	19	0
	化学・プラスチック	111	25	48	27	△ 2	111	21	58	21	0
	窯業・土石	39	26	51	23	3	39	18	67	15	3
	鉄鋼・非鉄	95	35	48	17	18	95	14	72	14	0
	金属製品	49	37	28	35	2	48	23	56	21	2
	一般機械	80	27	44	29	△ 2	79	23	49	28	△ 5
	電気機械	124	19	47	34	△ 15	124	16	56	28	△ 12
	輸送用機械	82	27	44	29	△ 2	82	14	65	21	△ 7
	精密機械	21	29	42	29	0	21	19	43	38	△ 19
	その他	54	24	45	31	△ 7	54	13	59	28	△ 15
計	860	25	46	29	△ 4	859	17	59	24	△ 7	
卸売業	生産財	47	13	53	34	△ 21	47	8	62	30	△ 22
	消費財	34	12	62	26	△ 14	34	9	62	29	△ 20
	計	81	12	57	31	△ 19	81	8	62	30	△ 22
合計	941	24	46	30	△ 6	940	16	59	25	△ 9	

(3) 営業倉庫保管量

■ 4～6月実績（見込み）の『保管動向指数』は、パルプ・紙など5業種がプラスを示し、精密機械および消費財卸がゼロ水準で、食料品・飲料など8業種がマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』は△3で、前期（1～3月）実績からは8ポイントの改善がみられた。

■ 7～9月の『保管動向指数』見通しでは、精密機械がプラスに上昇する一方、鉄鋼・非鉄、その他の製造業、消費財卸の3業種がマイナスに下降しよう。この結果、業種全体の『保管動向指数』は△6と3ポイントの低下が見込まれ、営業倉庫保管量は削減の方向に向かう見通しである。

営業倉庫保管量の実績と見通し

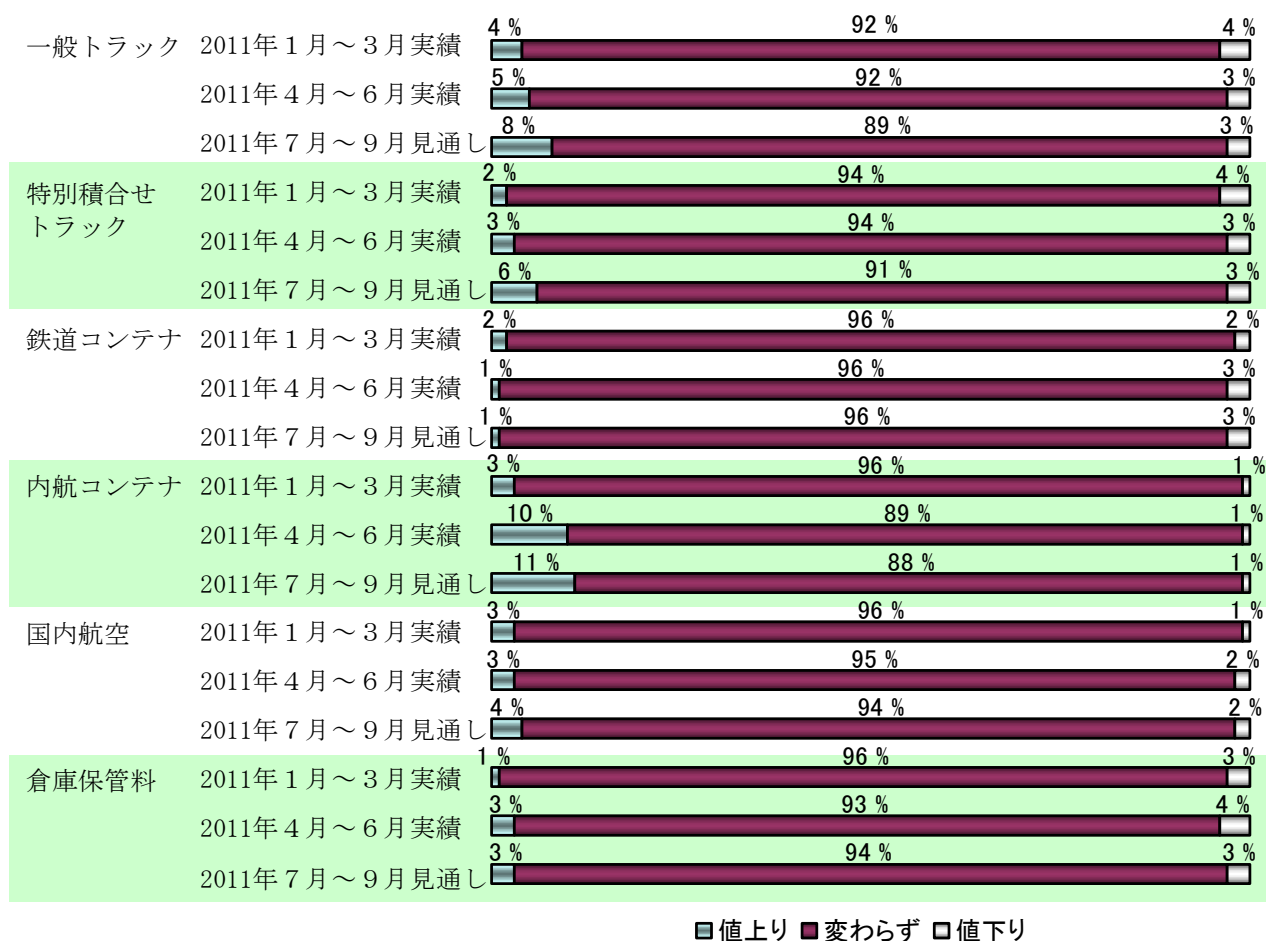
業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	62	14	47	39	△ 25	62	16	53	31	△ 15
	繊維・衣服	26	27	31	42	△ 15	26	19	43	38	△ 19
	木材・家具	24	21	50	29	△ 8	24	8	67	25	△ 17
	パルプ・紙	34	38	47	15	23	34	32	53	15	17
	化学・プラスチック	95	23	48	29	△ 6	95	18	55	27	△ 9
	窯業・土石	26	35	46	19	16	26	27	54	19	8
	鉄鋼・非鉄	61	28	59	13	15	61	8	81	11	△ 3
	金属製品	24	25	46	29	△ 4	24	21	58	21	0
	一般機械	56	27	48	25	2	57	28	47	25	3
	電気機械	83	19	51	30	△ 11	83	14	58	28	△ 14
	輸送用機械	52	21	50	29	△ 8	52	17	64	19	△ 2
	精密機械	18	17	66	17	0	18	17	72	11	6
	その他	39	26	54	20	6	39	15	62	23	△ 8
計	600	23	50	27	△ 4	601	18	59	23	△ 5	
卸売業	生産財	32	16	59	25	△ 9	32	13	56	31	△ 18
	消費財	22	23	54	23	0	22	18	55	27	△ 9
	計	54	19	57	24	△ 5	54	14	56	30	△ 16
合計	654	23	51	26	△ 3	655	18	58	24	△ 6	

－ 5. 運賃・料金の動向－

■ 4～6月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、鉄道コンテナおよび倉庫保管料ではマイナス、特別積合せトラックではゼロ水準を示すが、その他の機関ではプラスとなった。前期（1～3月）実績との比較では、鉄道コンテナおよび国内航空では僅かながら低下したが、その他の機関では『動向指数』が上昇方向に動いた。

■ 7～9月の『動向指数』見通しについては、鉄道コンテナでは横ばいで推移して、唯一マイナスとなり、倉庫保管料でもゼロ水準にとどまる見通しであるが、その他の機関ではプラスを示す。この結果、鉄道コンテナ以外の輸送機関においては、運賃水準は総じて緩やかな上昇方向に向かう見込みである。

運賃・料金の実績と見通し



(1) 一般トラック運賃

- 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具など8業種がプラス、パルプ・紙および精密機械の2業種がゼロ水準で、電気機械など5業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス2で、前期(1～3月)実績からは2ポイント上昇した。
- 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、化学・プラスチック、輸送用機械、生産財卸の3業種がプラスに反転し、繊維・衣服もゼロ水準まで浮上するなど、大半の業種で上昇の動きがみられる。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は3ポイント上昇してプラス5となり、運賃水準は緩やかな上昇が続く見通しである。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	90	10	89	1	9	89	16	83	1	15
繊維・衣服	43	0	95	5	△5	43	5	90	5	0
木材・家具	36	14	86	0	14	36	17	83	0	17
パルプ・紙	44	5	90	5	0	44	9	86	5	4
化学・プラスチック	114	3	93	4	△1	114	5	91	4	1
窯業・土石	42	7	91	2	5	42	14	84	2	12
鉄鋼・非鉄	96	6	91	3	3	96	10	86	4	6
金属製品	49	8	86	6	2	49	6	90	4	2
一般機械	87	5	94	1	4	87	8	90	2	6
電気機械	122	1	93	6	△5	122	1	93	6	△5
輸送用機械	82	4	91	5	△1	82	4	94	2	2
精密機械	23	4	92	4	0	23	4	87	9	△5
その他	55	11	89	0	11	54	7	93	0	7
計	883	5	92	3	2	881	8	89	3	5
卸売業										
生産財	48	0	98	2	△2	48	2	98	0	2
消費財	39	3	97	0	3	39	10	87	3	7
計	87	1	98	1	0	87	6	93	1	5
合計	970	5	92	3	2	968	8	89	3	5

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具など8業種がプラスで、精密機械など7業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はゼロ水準で、前期(1～3月)実績からは2ポイント上昇した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、窯業・土石および鉄鋼・非鉄の2業種がプラスに反転し、化学・プラスチックもゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は3ポイント上昇してプラス3と、2009年1～3月以来のプラス水準に浮上し、運賃水準は緩やかな上昇に向かう見通しである。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	54	4	94	2	2	54	19	80	1	18
	繊維・衣服	39	3	92	5	△2	39	5	87	8	△3
	木材・家具	25	16	80	4	12	25	16	80	4	12
	パルプ・紙	26	15	77	8	7	26	27	65	8	19
	化学・プラスチック	98	1	94	5	△4	98	3	94	3	0
	窯業・土石	27	0	96	4	△4	27	11	85	4	7
	鉄鋼・非鉄	62	0	98	2	△2	62	3	95	2	1
	金属製品	37	3	97	0	3	37	0	97	3	△3
	一般機械	68	6	91	3	3	67	4	95	1	3
	電気機械	102	2	92	6	△4	102	3	91	6	△3
	輸送用機械	62	0	95	5	△5	62	2	95	3	△1
	精密機械	11	0	91	9	△9	11	0	91	9	△9
	その他	43	5	95	0	5	43	5	95	0	5
計	654	3	93	4	△1	653	6	90	4	2	
卸売業	生産財	38	3	97	0	3	37	0	100	0	0
	消費財	27	4	96	0	4	27	4	96	0	4
	計	65	3	97	0	3	64	2	98	0	2
合計	719	3	94	3	0	717	6	91	3	3	

(3) 鉄道コンテナ運賃

- 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、一般機械が唯一プラスを示し、食料品・飲料など7業種がゼロ水準で、精密機械など7業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△2で、前期(1～3月)実績からは2ポイント低下した。
- 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、大きな動きはみられず、業種全体の『運賃動向指数』も横ばいで推移しよう。このため、鉄道コンテナは全機関のなかで唯一『運賃動向指数』がマイナス水準にとどまり、運賃水準は小幅な低下が続く見通しである。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	43	0	100	0	0	42	0	100	0	0
	繊維・衣服	15	0	93	7	△7	15	0	93	7	△7
	木材・家具	16	0	100	0	0	16	0	100	0	0
	パルプ・紙	32	0	94	6	△6	32	0	94	6	△6
	化学・プラスチック	80	2	94	4	△2	80	2	94	4	△2
	窯業・土石	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
	鉄鋼・非鉄	37	0	97	3	△3	37	0	97	3	△3
	金属製品	19	0	100	0	0	18	0	100	0	0
	一般機械	35	6	94	0	6	35	9	91	0	9
	電気機械	43	0	98	2	△2	43	0	98	2	△2
	輸送用機械	26	0	88	12	△12	26	0	92	8	△8
	精密機械	7	0	86	14	△14	7	0	86	14	△14
	その他	24	0	100	0	0	24	0	100	0	0
計	391	1	96	3	△2	389	1	96	3	△2	
卸売業	生産財	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
	消費財	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
	計	22	0	100	0	0	22	0	100	0	0
合計	413	1	96	3	△2	411	1	96	3	△2	

(4) 内航コンテナ運賃

- 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、窯業・土石など9業種がプラス、金属製品、電気機械、消費財卸の3業種がゼロ水準で、繊維・衣服、輸送用機械、精密機械の3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス9で、前期(1～3月)実績からは7ポイント上昇した。
- 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、電気機械がマイナスに落ち込む一方、消費財卸がプラスに浮上し、鉄鋼・非鉄および一般機械のプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は強含み横ばいで推移してプラス10と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が若干強まるとみられる。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	21	14	86	0	14	21	14	86	0	14
	繊維・衣服	8	0	88	12	△12	7	0	86	14	△14
	木材・家具	11	9	91	0	9	11	9	91	0	9
	パルプ・紙	12	25	75	0	25	12	25	75	0	25
	化学・プラスチック	47	9	91	0	9	47	9	91	0	9
	窯業・土石	13	38	62	0	38	13	38	62	0	38
	鉄鋼・非鉄	22	9	91	0	9	22	14	86	0	14
	金属製品	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
	一般機械	32	12	88	0	12	32	19	81	0	19
	電気機械	32	3	94	3	0	31	0	97	3	△3
	輸送用機械	22	0	91	9	△9	22	0	95	5	△5
	精密機械	4	0	75	25	△25	4	0	75	25	△25
	その他	21	10	90	0	10	21	10	90	0	10
計	259	10	88	2	8	257	11	88	1	10	
卸売業	生産財	5	20	80	0	20	5	20	80	0	20
	消費財	7	0	100	0	0	7	14	86	0	14
	計	12	8	92	0	8	12	17	83	0	17
合計	271	10	89	1	9	269	11	88	1	10	

(5) 国内航空運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具など7業種がプラス、繊維・衣服など5業種がゼロ水準で、電気機械、輸送用機械、精密機械の3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期（1～3月）実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、パルプ・紙がプラスに浮上し、輸送用機械もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は強含み横ばいで推移してプラス2と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が若干強まる見通しである。

国内航空運賃の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	17	6	94	0	6	17	0	100	0	0
	繊維・衣服	12	0	100	0	0	12	0	100	0	0
	木材・家具	9	11	89	0	11	9	11	89	0	11
	パルプ・紙	4	0	100	0	0	4	25	75	0	25
	化学・プラスチック	33	3	97	0	3	33	3	97	0	3
	窯業・土石	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0
	鉄鋼・非鉄	26	4	96	0	4	26	4	96	0	4
	金属製品	17	6	94	0	6	17	12	88	0	12
	一般機械	47	4	94	2	2	47	6	92	2	4
	電気機械	62	2	95	3	△1	62	3	92	5	△2
	輸送用機械	21	0	95	5	△5	21	0	100	0	0
	精密機械	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12
	その他	21	5	95	0	5	21	10	90	0	10
計	290	3	95	2	1	290	4	94	2	2	
卸売業	生産財	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
	消費財	10	0	100	0	0	9	0	100	0	0
	計	19	0	100	0	0	18	0	100	0	0
合計	309	3	95	2	1	308	4	94	2	2	

(6) 営業倉庫保管料金

- 4～6月実績（見込み）の『料金動向指数』は、生産財卸など4業種がプラス、食料品・飲料など5業種がゼロ水準で、精密機械など6業種がマイナスとなった。業種全体の『料金動向指数』は△1で、前期(1～3月)実績からは強含み横ばいで推移した。
- 7～9月の『料金動向指数』見通しでは、一般機械がプラスに浮上し、木材・家具および輸送用機械の2業種もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『料金動向指数』は強含み横ばいで推移してゼロ水準と見込まれ、料金水準は下げ止まる見通しである。

営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	50	2	96	2	0	50	4	96	0	4
繊維・衣服	20	5	90	5	0	20	0	95	5	△5
木材・家具	20	0	95	5	△5	20	0	100	0	0
パルプ・紙	32	6	91	3	3	32	6	91	3	3
化学・プラスチック	87	0	95	5	△5	87	2	95	3	△1
窯業・土石	21	5	95	0	5	21	5	95	0	5
鉄鋼・非鉄	48	4	96	0	4	48	4	96	0	4
金属製品	21	5	90	5	0	21	5	90	5	0
一般機械	52	2	94	4	△2	53	6	91	3	3
電気機械	75	1	90	9	△8	75	1	91	8	△7
輸送用機械	48	2	94	4	△2	48	2	96	2	0
精密機械	15	0	87	13	△13	15	0	80	20	△20
その他	37	8	84	8	0	36	6	92	2	4
計	526	2	93	5	△3	526	3	93	4	△1
卸売業										
生産財	22	5	95	0	5	22	0	100	0	0
消費財	20	0	100	0	0	20	0	100	0	0
計	42	2	98	0	2	42	0	100	0	0
合計	568	3	93	4	△1	568	3	94	3	0

－ 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、4～6月実績（見込み）の『動向指数』は、繊維・衣服、精密機械、生産財の3業種がマイナスで、残り12業種がプラスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス9で、前期（1～3月）実績からは6ポイントの上昇となった。

■ 7～9月の『動向指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに低下する一方、一般機械などのプラス幅が拡大したことなどにより、業種全体の『動向指数』は横ばいで推移しよう。この結果、物流コスト割合は上昇が続く見通しである。

物流コスト割合の実績と見通し

業種	2011年4月～6月実績					2011年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			動向指数	回答社数	構成比(%)			動向指数
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
食料品・飲料	88	32	61	7	25	88	34	60	6	28
繊維・衣服	50	16	64	20	△4	51	11	75	14	△3
木材・家具	35	29	60	11	18	35	20	71	9	11
パルプ・紙	45	20	76	4	16	45	22	69	9	13
化学・プラスチック	115	16	72	12	4	115	16	74	10	6
窯業・土石	44	30	66	4	26	44	23	70	7	16
鉄鋼・非鉄	98	21	72	7	14	99	17	77	6	11
金属製品	51	27	57	16	11	52	21	64	15	6
一般機械	88	20	66	14	6	87	20	74	6	14
電気機械	132	23	58	19	4	131	21	65	14	7
輸送用機械	84	26	56	18	8	84	10	73	17	△7
精密機械	25	8	76	16	△8	24	8	79	13	△5
その他	55	35	53	12	23	54	22	65	13	9
計	910	23	64	13	10	909	19	70	11	8
卸売業										
生産財	56	14	68	18	△4	56	10	77	13	△3
消費財	43	12	84	4	8	43	16	79	5	11
計	99	13	75	12	1	99	13	78	9	4
合計	1,009	22	65	13	9	1,008	19	71	10	9